

第 4 回 笠間市立小中学校学区審議会

日 時 令和6年9月19日（木）

午後7時00分から

場 所 笠間市役所教育棟 2 階 2-1・2-2会議室

次 第

1. 開 会

2. 議 事

（1）前回協議事項の結果について・・・資料 1

（2）グループ協議

①資料の説明・・・・資料 2-1～2-3

②タブレットの説明（地図、アンケート）

③グループ協議

（3）その他

①次回日程について

令和6年10月24日（木） 午後7時00分から

場所：市役所教育棟 2 階 2-1・2-2会議室

3. 閉 会

資料1

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ:10年後の笠間市の学区について考えよう

主な意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
笠間	学校・学級・施設	学級	クラスの人数は多すぎなくてよい。少人数の良さもあるのでは？ 生徒数は2、3学級になるように確保したい	
		学区編成	学区の見直しによってこどもが増える	
		学校制度	小中一貫校にしてい	
		授業	他の学校と交流ができることが望ましい こどもたちが学びやすい環境の整備が必要	
		地域交流	通学路の整備(草の侵入で登校に不便な通学路がある)歩道の整備	
	通学・安全	通学環境		通学方法の自由
		通学時間	30分前後で登校できる環境が望ましい 路線バスのルートが増える	
		登校班	学級数が減少し、登校班が維持できなくなってしまう	
		部活動	統合して部活動を充実させる こどもが増えることにより部活動が増える	
	学校・学級・施設	部活動		
友部	地域・町内	住環境	生徒数増加が必要である。	
	子ども・家庭・人	学童・児童クラブ	学童がせまくて、ギューギューである。	学童ギューギュー
	学校・学級・施設	学級	特別支援学級も8人という人数制限があり、教室の数も足りなくなってきた。	支援学級
		学区編成	子どもたちが少なくなっても、運営できるのであれば、現状のままでよいと思う。 特色ある学校に、自由に選んで行ける学区になるとよい 人口密集地とそうでないところがあるので、人数の分散をしたほうがよい、	運営可能なら現状維持 特色ある学校 地区の人数の分散
		施設	学校の施設も古くなってきている。 衛生面はきれいであつたほうがよい 給食はおいしいことにこしたことはない	キレイな環境で学ぶ キレイなトイレ おいしい給食(質・量)
		通学環境	統合してスクールバスや乗り合いのタクシーで登下校してはどうか。	複数クラスの確保
	通学・安全	通学環境	暑い日が続いているので、登下校を心配している。特に1年生は、一番暑い時間帯に帰ってくる。それが金曜日ともなると、重い荷物をもって帰ってくる。それこそ、シャワー浴びてきた？くらいの汗をかいて帰ってくる。 通学専用のバスがあればいい。 歩道がきちんと整備され、子どもたちが安全に登下校できるようにしたい 子どもたちのつながりも含めて、登校班・下校班はあつたほうがよい	暑い日の登校 通学専用のバス導入 安全に登校・下校できる 登校班・下校班はあつたほうがよい
			人間関係がうまくいかなかったときに、次の学年でクラス替えがあり、リセットできるメリットがある。	3学級以上はあつたほうがよい。中学生だと特に
		部活動		部活動もあるので、学区外もOKに
		地域・町内	学区編成	調整区域の話題
	学校・学級・施設	学区編成	多様性を考えるならば、部活動などや教育方針など学区に関係なく学校を選べるようになるとういのではない 子どもが中心になるように学区も考えていきたい	学区関係なく学校を選べる・スポーツ・教育方針 保護者、行政より子ども
	地域・町内			
	その他	その他	子どもの意識も学区という枠でなく広がりがつあるということ を岩間地区の協議結果として発表してよい(委員異議なし)	

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ：10年後の笠間市の学区について考えよう

地区ごとの意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
笠間	学校・学級・施設	学級	単学級のためクラス対抗戦ができるとよい	
			このままでは飛び級がはじまるだろう	
			クラスの人数は多すぎなくてよい。少人数の良さもあるのでは？	
			生徒数は2、3学級になるように確保したい	
		学区編成	学区の見直しによってこどもが増える	
		学校制度	小中一貫校にしてい	
		施設	今の校舎を使い続ける	
			教室の快適さ	
		授業	オンラインの授業が認められる？	
			将来はAIの先生がいる	
			将来は紙ベースの授業がなくなっているだろう	
			児童生徒数の減少で手厚い指導を受けることができる	
			体験を重視するような教育活動を行う必要がある	
			他の学校と交流ができることが望ましい	
			こどもたちが学びやすい環境の整備が必要	
				水泳の授業
		部活動	統合して部活動を充実させる	
			こどもが増えることにより部活動が増える	
			現状は部活動が活発に行えている。	
	地域・町内	地域活動	地域が密着する活動が望ましい	部活動はなくてもよい
				おみこし
				子供会・育成会がすべてではなくなる
		地域交流	地域の行事の活性化、こども同士、地域内で世代を超えたものが必要である	
		住環境	住みたい、住みやすい笠間にして若い世代の移住を増やす 生徒数増加が必要である。	
	通学・安全	地域交流	通学路の整備(草の侵入で登校に不便な通学路がある)歩道の整備	
		通学環境	安全に通学できる環境の整備が必要	
		通学時間		通学方法の自由
			通学に係る時間が長くなるので8:30開始15:30終業が望ましい	
			30分前後で登校できる環境が望ましい	
	子供・家族・人間関係	登校班	路線バスのルートが増える	
			学級数が減少し、登校班が維持できなくなってしまう	
		人間関係	友人との距離感 (帰宅後に友人宅に行くことが難しい。自転車の行動範囲が決められているため)	
		支援	ランドセル指定無償配布	

第4回笠間市立小中学校学区審議会資料

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ:10年後の笠間市の学区について考えよう
地区ごとの意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
友部	学校・学級・施設	学童・児童クラブ	児童クラブはお弁当で、しかも冷蔵庫もないので、保冷剤が大量に必要となってくる。暑い日は本当に不安。	児童クラブも給食がいい
		学級	特別支援学級も8人という人数制限があり、教室の数も足りなくなっている。	支援学級
		学区編成	子どもたちが少なくなっても、運営できるのであれば、現状のままでよいと思う。	運営可能なら現状維持
			同じ意見です。	少ない人数でも学べる学校
			特色ある学校に、自由に選んで行ける学区になるとよい	特色ある学校
				選ぶことが自由(学区を越えて)
			人口密集地とそうでないところがあるので、人数の分散をしたほうがよい、	地区の人数の分散
			大橋地区には昔、西茨城郡第一学区大橋小学校があった。それを考えると、地区が再編成されても、何年か経つと違和感がなくなってくるのではないかな。	学区の見直しについて
		学校制度	笠間中は、おはしセットを各自購入し、毎日洗って持って行っていたが、友部地区は給食時に配付されるのがいい。	給食のおはしが用意されているのはいい
		施設	学校の施設も古くなってきている。	キレイな環境で学ぶ
			衛生面はきれいであったほうがよい	キレイなトイレ
			給食はおいしいことにこしたことはない	おいしい給食(質・量)
				給食は学校でつくる
				地産地消・給食センターの充実
		授業	給食センターの在り方、友部地区だけ学校に給食室がある。	おいしい給食委員会
				給食室での調理
			複式学級などのシステムは詳しく知らないが、学習カリキュラムを変更していく必要もあるのではないかな。	学習カリキュラムの変更
			オンライン学習などで、学習の仕方も変わっているかもしれない。	学校の在り方が変わっているかもしれない(リモート)
				オンラインで各校と交流
		その他	曜日ごとに色が分かれているので、色なしがいい。	給食のタオル
		通学環境	統合してスクールバスや乗り合いのタクシーで登下校してはどうか。	複数クラスの確保
		通学時間	(学区の地図を見ながら)大橋や池野辺の子どもたちのスクールバスは、大原小学校より行つてから笠間小学校に向かっている。	
			新しい道路もできてますね。	
			新しい道路から大原まで一本で行けますね。	
			同意見です。	学区の見直しは必要
		人間関係	人間関係がうまくいかなかったときに、次の学年でクラス替えがあり、リセットできるメリットがある。	3学級以上はあったほうがいい。中学生だと特に
		部活動		部活動もあるので、学区外もOKに
	地域・町内	施設		全天候型の遊び場
				お仕事体験ができる場所の創設
		通学環境		見守ってくれる人はいてほしい
			実現してくれって言われちゃいそうだけど、思ったこと貼ってくね	子供専用の周遊無料バス
		人間関係		卒業してもつながれる学校
			地域活動	地域とのつながりをのこす
		学区編成	・央戸小学校は「葵」の小学校だから、いわゆるステータスがある学校。	調整区域の話題
			・調整区域から通っている児童も多い。	調整区域の話題
			・昔からいろいろある区域なので、学区として区切るのは難しいのではないかな。	調整区域の話題
			・今の方たちは、そういう縛りがあるかもしれないが、10年後の子どもたちのことを考えるとそうも言ってもらえない。	調整区域の話題
	通学・安全	地域活動	高齢者も年齢が上がっているので、10年後となれば…	通学路の安全確保
		通学環境	登下校のボランティアの数が減ってしまわないようにしたい。	登下校のボランティアの数が減ってしまわないようにしたい。
			安全に登校ができるようにしたい。	登校の安全性

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ:10年後の笠間市の学区について考えよう

地区ごとの意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
			暑い日が続いているので、登下校を心配している。特に1年生は、一番暑い時間帯に帰ってくる。それが金曜日ともなると、重い荷物をもって帰ってくる。それこそ、シャワー浴びてきた？くらいの汗をかいて帰ってくる。	暑い日の登校
			通学時間が長い児童生徒がいる。	通学時間
			通学専用のバスがあればいい。	通学専用のバス導入
			10年後、気候も心配なので、登下校の安全を確保したい。	10年後、気候も心配なので、登下校の安全を確保
			歩道がきちんと整備され、子どもたちが安全に登下校できるようにしたい	安全に登校・下校できる
			小学生に長い時間をおかせるのは厳しい。	登校の歩く時間が長すぎるのはダメ
			子どもたちのつながりも含めて、登校班・下校班はあったほうがよい	登校班・下校班はあったほうがよい
	子ども・家庭・人	学童・児童クラブ	学童がせまくて、ギューギューである。	学童ギューギュー

第4回笠間市立小中学校学区審議会資料

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ:10年後の笠間市の学区について考えよう

地区ごとの意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
岩間	学校・学級・施設	PTA	学校のPTAや子ども会なども正直負担な面があるため、関わらない取り組みも必要ではないか	保護者が学校そのものに関わらなくて済む
			これからPTAで学校に関わっていく在り方も変わっていくのではないか、市内でも違う取り組みがある	PTAのあり方
			PTAもやってみると関係性ができていいもの	つながりができる(保護者も)
		学童・児童クラブ	預けられるところについても保護者としては大きな懸念	学童の配置
			学童に行っている間、任せられるというのは大きい	保護者の生活
		学区編成	選べる状態を増やすためには、学区というしほりにとらわれないよう考えることも大切なのではないか	学区にしばられない選択肢を増やしたい
			多様性を考えるならば、部活動などや教育方針など学区に関係なく学校を選べるようになるとういのではないか	学区関係なく学校を選べる・スポーツ・教育方針
	授業	授業	部活動もそうだが、様々な体験も重要になっている。そういったことを選べる状態がよいのではないか。	子どもがやりたいことを選べる状態
			子どもがどんな才能があるか、様々なものに触れるチャンスは確保したい	スポーツ・音楽・芸術・学力 のばせるチャンスはなくしたくない
			子どもが学校に行く大きな楽しみは、給食や休み時間、体育や部活などの活動だった	子どもの楽しみ 給食 休み時間
		人間関係	様々な児童生徒がいるのが学校になっているので、多様性を担保しつつ、安心安全と両立させたい	多様性を担保したい
			安心に過ごせる学校は絶対条件として、多様性の持つごちゃごちゃ感と両立させたい	安心・安全とごちゃごちゃ感を両立させたい
		部活動	縮小傾向にあるところだが、子どもに合った競技等が選べる環境は維持したい	部活
	子供・家族・人間関係	学区編成	部活動で市内だけでなく、市外の学校とも合同チームになっているが、同じ競技が好きなもの同士、子どもはうまくやっている	地区(学区・市域)を越える
			子どもの中では、すでに学区といった範囲を超えて、状況に柔軟に対応できているのではないか	子どもの意識変化
			学校代表といった意識がなくなるのはさみしいが、そうした考えも徐々に変わっていくのではないか	学校代表など学校の単位を既に越えている
		授業	バーチャルな場では気をつけることも異なってくる。そういった面でも安心を確保していかななくてはならない	安全 Web・リアルの違い
			(他G交流中)多様性を認めて何でもありになってしまうことも難しい側面がある	
		人間関係	幼なじみもそうだが、先輩後輩といった関係性も子どもたちの中で希薄になっているように思う	交わり方の変化(人同士)
	地域・町内	学区編成	上下関係や基本的な社会的なマナーを学ぶ場を担っていた部分が消えつつあるので、そうした場も必要かもしれない	社会的な(日常的な)教育
			子どもが中心になるように学区も考えていきたい	保護者、行政より子ども
			学校の敷居が高くなっているので、例えばコンビニを併設するなど、地域の人が日常的に関わる場にしたい	地域の人にとっても日常的に関わる学校(拠点)にしたい
		施設	将来的にはアバターで登校する学校が当たり前になっていくかもしれない	バーチャルな学校
			学校で遊べなくなっていることもあり、地域で子どもが遊ぶようにすることで活性化させたい	地域で子どもが遊ぶ姿が見えるようにしたい
			子どもが外で遊べる環境がない。スマホなどでのつながりが中心になっている	外で遊べる環境・スマホ利用減らす
		地域活動	運営というよりは交流。やはり上の世代と子どもたちの接点がなくなっている	三世代運営(交流)
			他の人も言っているが、子ども会だけでなく町内会も含め、地域の組織の運営も今後課題になってくる	町内会・子ども会運営は
			地域の活動や学校がそうした場としてつながりをつくっていた	つながりができる(大人も)
		人間関係	子どもが外で遊ばなくなった。夜七時に「これから集合」というので驚いていると、ネット上でゲームで集まっている。	場所
			年齢を重ねても助け合える人が地域にいる環境は継続した方がよい	幼なじみがいる環境を残してあげたい
	PTA	PTA	(他G交流中)PTAは友二中にならって、友中でもなくて希望者が活動するなどの取り組みを行っている。	

【令和6年8月26日 第3回笠間市立小中学校学区審議会 グループ協議結果】テーマ:10年後の笠間市の学区について考えよう
地区ごとの意見

地区	大分類	中分類	内容詳細	付箋内容／テーマ
	その他	その他	付箋は、課題を書けばよいか、やりたいことを書けばよいか(司会:いずれも)	
			子どもの意識も学区という枠でなく広がりとあるということ を岩間地区の協議結果として発表してよいか(委員異議なし)	
	通学・安全	学区編成	緊急時(災害等)の対応も学区には関係するのではないか	有事の対応
		通学環境	通学距離が長くなると、安全にするためにはバスやタクシーなどが 必要になってくるのだろうか	安全な通学。バス、タクシー
			現状でも少ない登校班などが、これからどうなっていくかわからない 通学の安全性は確保していきたい	通学路 通学が心配

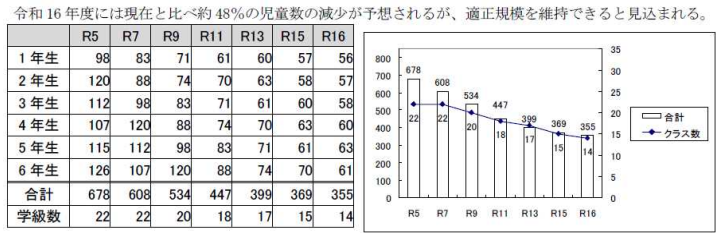
第4回笠間市立小中学校学区審議会資料

地区名:笠間地区

令和6年9月19日 第4回笠間市立小中学校学区審議会

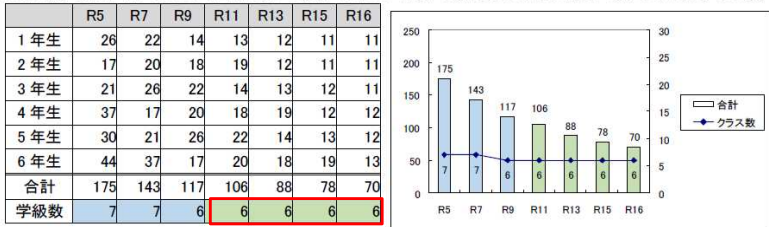
(1)各学校の将来推計(基本計画:令和5年度実数と将来推計)

◇笠間小学校



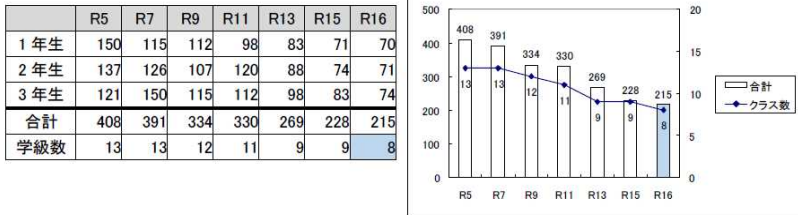
◇稲田小学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約60%の児童数の減少が予想される。また、新入生18人に満たない状況が令和11年度から見込まれ、適正配置の見直しが必要である。



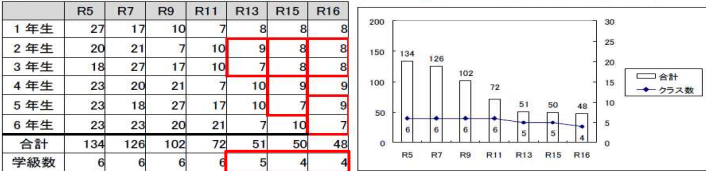
◇笠間中学校

令和16年度において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約47%の生徒数の減少が予想されるが、当面各学年で短学級にはならないと見込まれることから注意して経過を観察する。



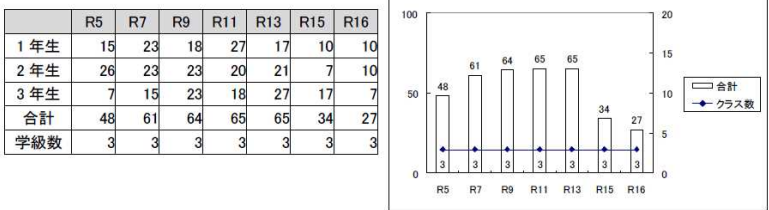
◇みなみ学園義務教育学校(前期課程)

令和16年度には現在と比べ約64%の児童数の減少が予想される。平成29年度に小規模特認校として指定した。また、複式学級となり得る状況が予想されるため、児童を確保していく取り組みが必要である。



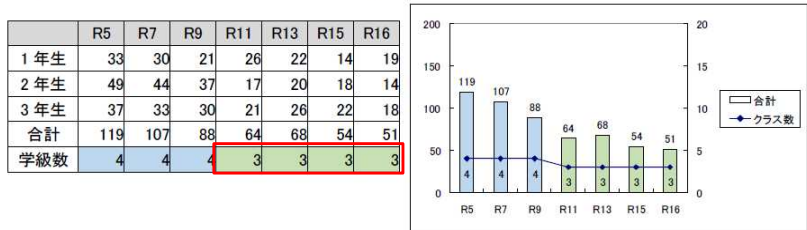
◇みなみ学園義務教育学校(後期課程)

令和16年度には現在と比べ約48%の生徒数の減少が予想される。平成29年度に小規模特認校として指定した。



◇稲田中学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約57%の児童数の減少が予想される。また、各学年で単学級となる状況が令和11年度から見込まれ、適正配置の見直しが必要である。



- :複式学級(小学校は2つの学年で16人以下、1年生を含む場合は8人以下、中学校は2つの学年で8人以下)が予想される学級
- :適正規模(小学校で12~18学級・1学級最大30人、中学校で9学級以上・1学級最大35人)に満たないと予想される学校
- :適正規模に満たない、かつ適正配置の見直し(小学校で新入児童数が18人を下回り、かつそれ以降の年度も新入児童数が18人に達しないと判断された場合、中学校ですべての学年で単学級となり、それ以降も単学級の状態が続くと判断された場合)が必要と予想される学校

(2)学校施設の現状

建物基本情報											構造躯体の健全性					劣化状況評価							健全度 順位	備考
通し 番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根 上・ 屋	外 壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備	健全度 (100点 満点)		
			学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の 区分								
1	笠間小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	3	1,580	1975	S50	48	旧	済	済	H20	22.3	長寿命	C	C	C	B	B	49	6	
2	笠間小学校	管理教室棟	小学校	校舎	RC	3	2,565	1980	S55	43	旧	済	済	H20	17.7	長寿命	C	B	C	B	B	59	20	
3	笠間小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	2	2,426	1980	S55	43	旧	済	-	H20	19.6	長寿命	C	C	C	B	B	49	6	
4	笠間小学校	体育館	小学校	体育館	RC	1	1,215	1992	H4	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	28	
5	稲田小学校	管理・特別教室棟	小学校	校舎	RC	2	1,781	1979	S54	44	旧	済	-	H22	23.2	長寿命	B	C	C	B	C	47	4	
6	稲田小学校	普通教室棟	小学校	校舎	RC	3	2,099	1979	S54	44	旧	済	済	H22	17	長寿命	B	C	C	B	C	47	4	
7	稲田小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	880	1979	S54	44	旧	済	済	H23	24.3	長寿命	B	C	C	C	C	43	3	
42	旧南中学校校舎	校舎	義務教育学校	校舎	RC	2	1,033	1987	S62	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	旧南中学校校舎
43	旧南中学校校舎	校舎	義務教育学校	校舎	RC	3	987	1987	S62	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	旧南小学校校舎
44	旧南中学校校舎	体育館	義務教育学校	体育館	RC	2	859	1988	S63	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	旧南中学校体育館
28	笠間中学校	管理・教室棟	中学校	校舎	RC	4	3,466	1977	S52	46	旧	済	済	H21	23.1	長寿命	C	B	C	B	B	59	20	
29	笠間中学校	特別教室棟	中学校	校舎	RC	3	1,605	1977	S52	46	旧	済	済	H21	25.6	長寿命	C	B	C	B	B	59	20	
30	笠間中学校	技術教室棟	中学校	校舎	S	1	425	1977	S52	46	旧	済	済	H21	14.8	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
31	笠間中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,578	1977	S52	46	旧	済	済	H23	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
32	稲田中学校	管理教室棟	中学校	校舎	RC	4	3,563	1979	S54	44	旧	済	済	H24	23.8	長寿命	B	B	C	B	B	62	23	
33	稲田中学校	屋内運動場	中学校	体育館	RC	1	1,222	2006	H18	17	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	41	

※「築年数」における基準年は、令和5(2023)年としています。

「健全度順位」は点数の低いほうからの順位とし、参考として10位までを色付けしています。

◇メモ

(3)住所ごとの人数 R12.4の小学校人数想定値

現学校	住所	R12.4.1の想定児童数(住所別)							合計
		小1	小2	小3	小4	小5	小6		
笠間小学校	笠間	20	28	29	39	37	33		186
笠間小学校	石井	11	9	12	7	13	9		61
笠間小学校	赤坂	4	2	2	6	5	8		27
笠間小学校	下市毛	3	4	5	1	6	7		26
笠間小学校	日草場	0	0	0	0	0	1		1
笠間小学校	大橋	0	1	2	0	0	6		9
笠間小学校	池野辺	0	1	2	1	2	1		7
笠間小学校	福田	1	2	3	4	2	2		14
笠間小学校	飯田	0	3	0	2	3	2		10
笠間小学校	大郷戸	1	0	0	0	0	2		3
笠間小学校	片庭	0	0	1	0	0	3		4
笠間小学校	箱田	3	3	7	4	4	2		23
笠間小学校	寺崎	6	5	1	2	3	1		18
笠間小学校	日沢	0	0	1	1	0	1		3
笠間小学校	金井	1	1	0	1	1	2		6
笠間小学校	大洲	2	2	4	2	2	3		15
笠間小学校	来栖	0	1	1	0	2	0		4
	合計	52	62	70	70	80	83		417
稲田小学校	本戸の一部	1	1	3	1	0	3		9
稲田小学校	飯合	0	1	0	1	1	0		3
稲田小学校	福田	6	7	6	5	8	8		40
稲田小学校	福原	7	3	7	6	8	8		39
	合計	14	12	16	13	17	19		91
みなみ学園義務教育学校	本戸の一部	2	1	3	2	1	2		11
みなみ学園義務教育学校	来栖	2	1	4	5	3	6		21
みなみ学園義務教育学校	北吉原	0	0	0	0	0	2		2
みなみ学園義務教育学校	南吉原	2	1	1	0	0	2		6
みなみ学園義務教育学校	手越	0	3	1	1	2	3		10
みなみ学園義務教育学校	上加賀田	0	2	0	3	0	2		7
	合計	6	8	9	11	6	17		57
	総計	72	82	95	94	103	119		565

人数は令和6年4月1日時点の住民基本台帳の人数をもとに産出しているため推計値とは一致しません。

みなみ学園区域外就学の人数は考慮していません。

市外からの転入は考慮しておりません。

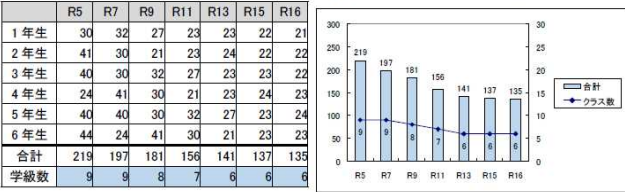
地区名:友部地区

令和6年9月19日 第4回笠間市立小中学校学区審議会

(1)各学校の将来推計(基本計画:令和5年度実数と将来推計)

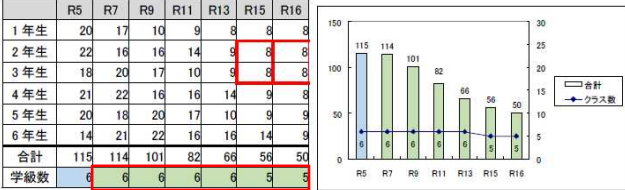
◇穴戸小学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約38%の児童数の減少が予想されるが、当面1クラス18人以上を確保できると見込まれることから注意して経過を観察する。



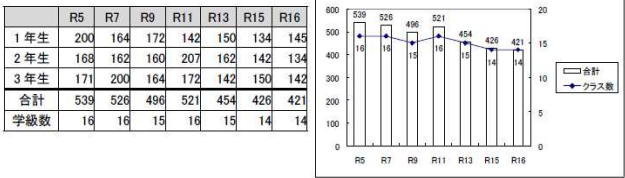
◇大原小学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約57%の児童数が減少し、複式学級となり得る状況が予想される。また、新入生18人に満たない状況が令和6年度から見込まれ、適正配置の見直しが必要である。



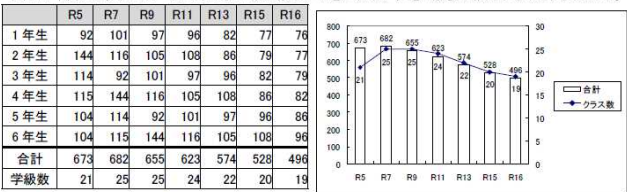
◇友部中学校

令和16年度には現在と比べ約22%の生徒数の減少が予想されるが、適正規模を維持できると見込まれる。



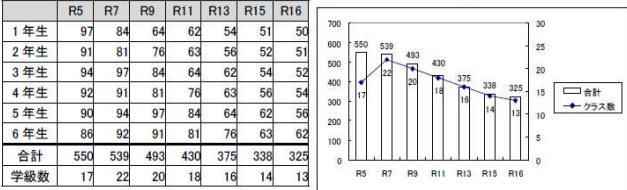
◇友部小学校

令和16年度には現在と比べ約26%の児童数の減少が予想されるが、適正規模を維持できると見込まれる。



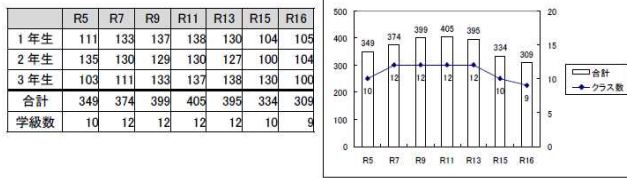
◇友部第二小学校

令和16年度には現在と比べ約41%の児童数の減少が予想されるが、適正規模を維持できると見込まれる。



◇友部第二中学校

令和16年度には現在と比べ約11%の生徒数の減少が予想されるが、適正規模を維持できると見込まれる。



複式学級(小学校は2つの学年で16人以下、1年生を含む場合は8人以下、中学校は2つの学年で8人以下)が予想される学級

適正規模(小学校で12~18学級・1学級最大30人、中学校で9学級以上・1学級最大35人)に満たないと予想される学校

適正規模に満たない、かつ適正配置の見直し(小学校で新入児童数が18人を下回り、かつそれ以降の年度も新入児童数が18人に達しないと判断された場合、中学校ですべての学年で単学級となり、それ以降も単学級の状態が続くと判断された場合)が必要と予想される学校

(2)学校施設の現状

建物基本情報										構造躯体の健全性						劣化状況評価						健全度 順位	改修工事 の 是非	
通し 番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根 上・ 屋	外 壁	内部 仕上	電気 設備	機械 設備			健全度 (100点 満点)
			学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)	試算上の 区分								
8	穴戸小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	3	3,047	1977	S52	46	旧	済	済	H21	17.3	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
9	穴戸小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	3	592	1991	H3	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
10	穴戸小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	866	1972	S47	51	旧	済	済	H23	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
11	友部小学校	普通教室棟	小学校	校舎	RC	2	1,106	1972	S47	51	旧	済	済	H9	19.3	長寿命	C	C	B	B	B	62	26	令和6、7年度改修工事
12	友部小学校	普通教室棟	小学校	校舎	RC	3	2,514	1973	S48	50	旧	済	済	H8	19.3	長寿命	C	C	C	B	B	49	6	
13	友部小学校	普通教室棟	小学校	校舎	RC	3	1,690	1973	S48	50	旧	済	済	H9	19.3	長寿命	C	C	B	B	B	62	26	
14	友部小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,137	1973	S48	50	旧	済	-	H9	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
15	北川根小学校	校舎	小学校	校舎	RC	1	3,907	1989	H1	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	1	
16	北川根小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	999	1989	H1	34	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	52	10	
17	大原小学校	校舎	小学校	校舎	RC	3	4,494	2003	H15	20	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	41	
18	大原小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	868	1990	H2	33	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
19	友部第二中学校	普通・特別教室棟	中学校	校舎	RC	3	3,568	1979	S54	44	旧	済	済	H22	17.9	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
20	友部第二中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,002	1980	S55	43	旧	済	済	H21	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
34	友部中学校	普通・特別教室棟	中学校	校舎	RC	4	5,004	1979	S54	44	旧	済	済	H16	29.2	長寿命	B	C	B	B	B	65	28	
35	友部中学校	特別教室棟	中学校	校舎	RC	4	1,379	2008	H20	15	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	44	
36	友部中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	2,029	1971	S46	52	旧	済	済	H19	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
37	友部第二中学校	普通・特別教室棟	中学校	校舎	RC	2	2,009	1986	S61	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	30	
38	友部第二中学校	普通・特別教室棟	中学校	校舎	RC	3	2,720	1986	S61	37	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	C	B	B	62	23	
39	友部第二中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,650	1987	S62	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52	10	

※「築年数」における基準年は、令和5(2023)年としています。

「健全度順位」は点数の低いほうからの順位とし、参考として10位までを色付けています。

◇メモ

(3)住所ごとの人数 R12.4の小学校人数想定値

		R12.4.1の想定児童数(住所別)						
現学校	住所	小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
穴戸小学校	平町	3	2	8	3	8	9	33
穴戸小学校	大田町	10	9	12	14	7	18	70
穴戸小学校	橋爪	1	1	1	2	2	4	11
穴戸小学校	矢野下	0	1	0	1	2	1	5
穴戸小学校	大古山	0	3	2	1	1	1	8
穴戸小学校	南小泉	0	3	1	3	1	2	10
	合計	14	19	24	24	21	35	137
友部小学校	鯉淵	32	27	41	34	32	41	207
友部小学校	五平	1	3	1	1	0	0	6
友部小学校	住吉	1	0	0	0	3	0	4
友部小学校	随分附	0	1	0	1	1	0	3
友部小学校	友部駅前	1	2	0	2	1	3	9
友部小学校	八雲一丁目	2	2	3	2	1	2	12
友部小学校	八雲二丁目	3	2	3	0	3	3	14
友部小学校	中央一丁目	4	1	6	2	1	3	17
友部小学校	中央二丁目	2	1	1	2	2	1	9
友部小学校	中央三丁目	1	0	1	0	1	2	5
友部小学校	東平一丁目	2	4	3	4	8	1	22
友部小学校	東平二丁目	3	2	2	3	5	1	16
友部小学校	東平三丁目	3	3	1	3	1	1	12
友部小学校	東平四丁目	3	3	3	2	6	6	23
友部小学校	美原一丁目	9	7	5	10	5	5	41
友部小学校	美原二丁目	8	6	8	4	10	10	46
友部小学校	美原三丁目	0	0	2	3	2	2	9
友部小学校	美原四丁目	4	8	8	8	10	6	44
	合計	79	72	88	81	92	87	499
北川根小学校	旭町	11	11	11	13	4	20	70
北川根小学校	湯崎	4	7	5	9	5	11	41
北川根小学校	住吉	10	6	13	10	9	2	50
北川根小学校	随分附	0	2	3	2	3	4	14
北川根小学校	柏井	0	0	1	2	2	0	5
北川根小学校	仁古田	0	1	2	0	0	2	5
北川根小学校	長兎路	1	1	1	0	0	4	7
	合計	26	28	36	36	23	43	192
大原小学校	下市原	0	0	1	0	0	2	3
大原小学校	中市原	0	1	0	1	3	1	6
大原小学校	上市原	2	2	5	1	3	2	15
大原小学校	小原	6	7	7	7	9	12	48
	合計	8	10	13	9	15	17	72
友部第二小学校	平町	19	26	32	28	32	36	173
友部第二小学校	大田町	1	3	2	0	1	2	9
友部第二小学校	橋爪	0	1	1	0	3	1	6
友部第二小学校	矢野下	1	1	0	3	1	0	6
友部第二小学校	旭町	27	36	32	33	31	38	197
友部第二小学校	住吉	0	0	1	1	1	1	4
友部第二小学校	八雲二丁目	1	0	0	1	0	0	2
友部第二小学校	中央二丁目	0	0	1	1	2	0	4
友部第二小学校	中央三丁目	1	2	0	0	0	1	4
友部第二小学校	中央四丁目	1	1	0	0	2	2	6
	合計	51	70	69	67	73	81	411
穴戸小・友部第二小	大古山	0	0	0	0	0	1	1
友部小・大原小	大田町	0	1	0	0	0	0	1
友部小・大原小	南友部	11	10	14	7	12	6	60
友部小・大原小	鴻巣	5	8	8	11	2	7	41
友部小・大原小	鯉淵	0	0	0	0	0	0	0
北川根小・友部第二小	旭町	4	2	2	5	3	5	21
	合計	20	21	24	23	17	19	124
	総計	198	220	254	240	241	282	1435

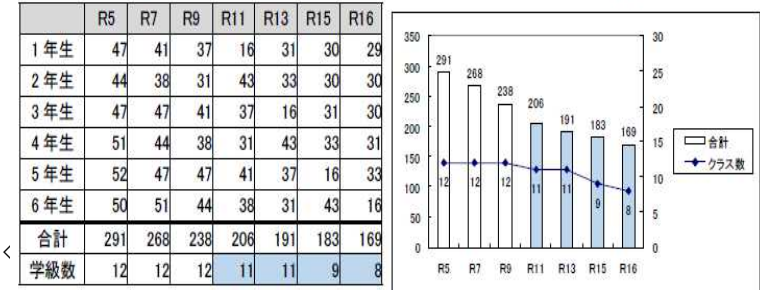
地区名:岩間地区

令和6年9月19日 第4回笠間市立小中学校学区審議会

(1)各学校の将来推計(基本計画:令和5年度実数と将来推計)

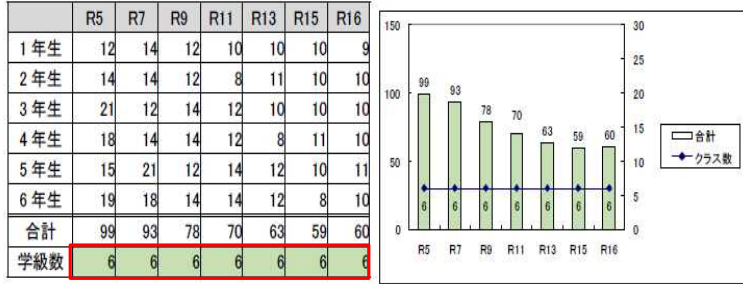
◇岩間第一小学校

令和11年度から適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約42%の児童数の減少が予想されるが、当面1クラス18人以上を確保できると見込まれることから注意して経過を観察する。



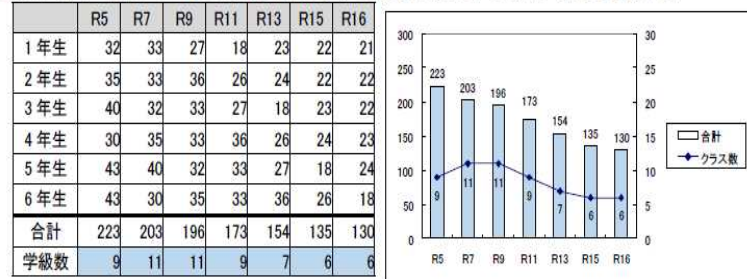
◇岩間第二小学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約39%の児童数の減少が予想される。また、新入生18人に満たない状況が今後も見込まれ、適正配置の見直しが必要である。



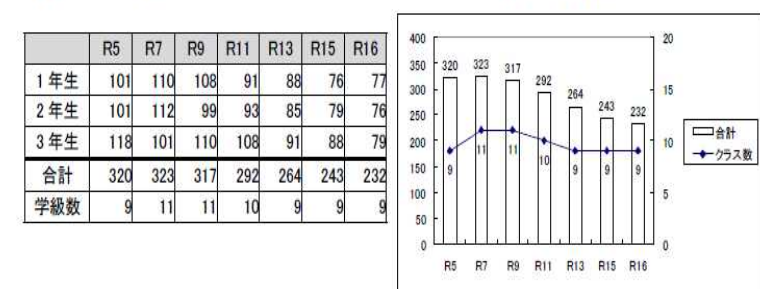
◇岩間第三小学校

現時点において適正規模を満たしておらず、さらに令和16年度には現在と比べ約42%の児童数の減少が予想されるが、当面1クラス18人以上を確保できると見込まれることから注意して経過を観察する。



◇岩間中学校

令和16年度には現在と比べ約28%の生徒数の減少が予想されるが、適正規模を維持できると見込まれる。



- : 複式学級 (小学校は2つの学年で16人以下、1年生を含む場合は8人以下、中学校は2つの学年で8人以下) が予想される学級
- : 適正規模 (小学校で12~18学級・1学級最大30人、中学校で9学級以上・1学級最大35人) に満たないと予想される学校
- : 適正規模に満たない、かつ適正配置の見直し (小学校で新入児童数が18人を下回り、かつそれ以降の年度も新入児童数が18人に達しないと判断された場合、中学校ですべての学年で単学級となり、それ以降も単学級の状態が続くと判断された場合) が必要と予想される学校

(2)学校施設の現状

建物基本情報										構造躯体の健全性					劣化状況評価							健全度 順位	改装工事の 是非	
通し 番号	施設名	建物名	用途区分		構造	階数	延床 面積 (㎡)	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・ 壁	外 壁	内部仕 上	電気設 備	機械設 備	健全度 (100点 満点)			
			学校 種別	建物 用途				西暦	和暦		基準	診断	補強	調査 年度	圧縮強度 (N/㎡)									試算上の 区分
21	岩間第一小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	3	4,818	1982	S57	41	新	-	-	-	長寿命	B	B	B	A	A	81	39		
22	岩間第一小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	1,194	1974	S49	49	旧	済	済	H24	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	41	
23	岩間第二小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	3	2,414	1986	S61	37	新	-	-	-	長寿命	C	C	C	B	B	49	6		
24	岩間第二小学校	教室棟	小学校	校舎	RC	2	675	1986	S61	37	新	-	-	-	長寿命	B	C	C	B	B	52	10		
25	岩間第三小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	2	841	1975	S50	48	旧	済	済	H18	-	長寿命	B	B	B	B	B	53	13	
26	岩間第三小学校	管理・教室棟	小学校	校舎	RC	3	3,199	1979	S54	44	旧	済	済	H23	24.2	長寿命	B	B	C	B	B	62	23	
27	岩間第三小学校	屋内運動場	小学校	体育館	S	1	912	1980	S55	43	旧	済	済	H22	-	長寿命	B	B	C	C	C	53	13	
40	岩間中学校	校舎	中学校	校舎	RC	3	5,946	2009	H21	14	新	-	-	-	長寿命	A	B	B	A	A	84	40		
41	岩間中学校	屋内運動場	中学校	体育館	S	2	1,247	1970	S45	53	旧	済	済	H19	-	長寿命	C	C	C	C	C	40	1	

※「築年数」における基準年は、令和5(2023)年としています。
「健全度順位」は点数の低いほうからの順位とし、参考として10位までを色付けしています。

◇メモ

(3)住所ごとの人数 R12.4の小学校人数想定値

現学校	住所	R12.4.1の想定児童数(住所別)						
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	合計
岩間第一小学校	下郷	22	18	34	38	35	33	175
岩間第一小学校	上郷	1	1	5	3	2	1	13
岩間第一小学校	泉	1	1	2	0	2	2	6
岩間第一小学校	吉岡	2	0	1	0	2	3	7
	合計	26	20	42	41	41	39	201
岩間第二小学校	土師	1	1	1	3	3	5	10
岩間第二小学校	押辺	1	7	1	8	5	2	25
岩間第二小学校	安居	1	2	4	1	6	8	22
	合計	3	10	6	12	14	15	57
岩間第三小学校	下郷	3	4	6	1	6	5	27
岩間第三小学校	泉	2	5	3	3	8	4	31
岩間第三小学校	市野谷	2	1	3	9	6	10	27
岩間第三小学校	福島	1	0	2	0	1	1	5
岩間第三小学校	吉岡	10	6	8	12	11	8	55
岩間第三小学校	押辺	2	1	4	2	1	3	12
	合計	20	17	26	27	33	31	157
	総計	49	47	74	80	88	85	415

人数は令和6年4月1日時点の住民基本台帳の人数をもとに産出しているため推計値とは一致しません。
みなみ学園区域外就学の人数は考慮していません。
市外からの転入は考慮しておりません。

複式学級の見込み

テーマ『10年後の笠間市の「学区」について考えよう』

ルール～以下の点をお守りください

1 安心・安全な発言の場です

- ① 立場や役職、年齢を越えて、公平・平等な関係で話しましょう(自己紹介)
- ② 途中で口を挟まず、否定しないで最後まで聞きましょう(うなづき、拍手)

2 今日の主語は「子ども」です

- ① 10年後、20年後の子どもたちの学びが充実することを第一に考えましょう
- ② 様々な角度からじっくりと話し合い、アイディアを出し合いましょう

3 詳細は、各グループの司会に任せます

- ① 予定している時間に沿って進めましょう
- ② しゃべり過ぎないように、そして黙りすぎないように

手順～話し合いの進め方(前半)

1 まず、事務局からの説明をお聞きください(15分)

- ① 気になったことは、メモをしておきましょう
- ② 質問は、いったん付箋に書いて、司会へ提出ください

2 地区を越えて話し合いをしましょう(15分)

- ① 均等に分かれて、新たなグループを作ります
- ② 「10年後の学区の姿」について、地区を越えて意見交換しましょう

3 休憩(10分)

手順～話し合いの進め方(後半)

4 地区ごとに、前回のふりかえりを踏まえて話し合います(30分)

- ① 司会の説明を聞きましょう
- ② 地区ごとに、「10年後の学区の姿」について話し合いましょう

5 お互いのグループの発表を聞きましょう(10分)

- ① 司会者がまとめをします
- ② 次回の論点、課題点などがあれば共有しましょう

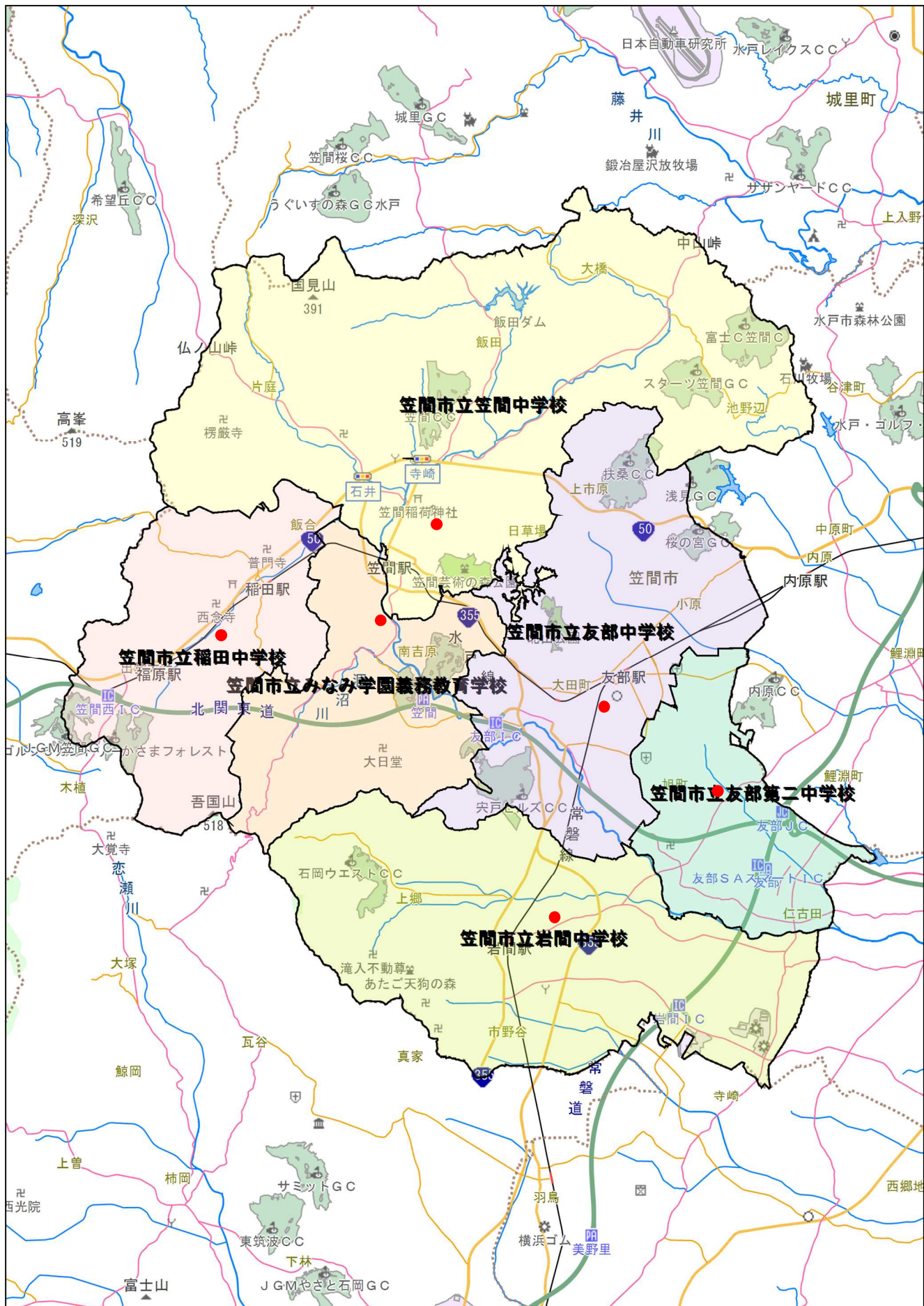
6 総括・事務連絡(10分)

補足 考え方を充実させるヒント

- 1 視点を変える 例 学校施設、通学路、地域コミュニティ、人間関係など
- 2 時代を追う 例 50年前は・・・、ここ数年は・・・、20年後は・・・
- 3 二軸で分ける 例 「時間」と「予算」の場合、「時間と予算がかかる」「時間はかかるが、予算はかからない」「時間はかからないが、予算がかかる」「時間も予算もかからない」の4つに分けて考える
- 4 優先順位を決める 例 今やるべきこと、いずれやること、どちらでもいいこと、禁止すべきこと など

ご自由に利用ください。

平面図(中学校学区)



縮尺 1 : 120000

ご自由に利用ください。